

提 案 書

提案名 (25字以内)	桜木町駅前どこいき隊
グループ名 (25字以内)	大道芸ボランティアの会

【1】提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

私達大道芸ボランティアの会（以下野毛ボラ）は2008年に、野毛大道芸のボランティアスタッフ有志により結成された団体です。

主な活動はイベントの運営ボランティアと自主企画によるイベントの開催です。運営ボランティアとしては野毛大道芸、スペシャルオリンピックス、川崎ハロウィン自主企画としては、認知症サポーター講習会、野毛大道芸イベント等を行っております。

また平成24年から現在まで桜木町駅前にて、まち案内ボランティア「桜木町駅前どこいき隊」を行っており平成27年まではYMM21より助成金を得て活動しておりました。

ホームページ nogebora.exblog.jp

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	5月分実施に向け案内エリアの現地調査，案内資料の作成
5月	どこいき隊員養成プログラム（第1回） どこいき隊（ザよこはまパレード開催当日）
6月	どこいき隊員養成プログラム（第2回）
7月	どこいき隊員養成プログラム（第3回）
8月	
9月	どこいき隊員養成プログラム（第4回）／どこいき隊（3連休）
10月	どこいき隊（横浜マラソン，横濱Jazzプロムナード開催当日）
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

(1) 活動の内容

JR 桜木町駅前広場およびその周辺地区にてまち案内「どこいき隊」を行います。みなとみらい地区を訪れるお客様へ「まち案内」を行う事により、観光・ショッピングを満喫していただく事を目的にします。

また、活動の拡大かつ継続的に行うため「どこいき隊員養成プログラム」を開催し、どこいき隊員の増員をはかります。さらに、どこいき隊では料金受取人払い郵便はがきを配布して利用者の声を集めます。

(2) 活動の主催者及び参加者

活動の主催者：大道芸ボランティアの会

参加者：みなとみらい地区在勤・在住の方、どこいき隊に賛同していただける方、および当会会員
よこはまコースのみなさん（予定）

(3) 活動を実現するための方法

- 1) 上記箇所にて、ボランティアを配置しみなとみらいを訪れる方お客様へ「まち案内」を行います。
- 2) この活動をもっと多くの人に広め、参加してもらえようインターネット等を有効に利用。
(SNS・メディアへの積極的な発信、みなとみらい在住者・企業への参加働きかけ等)
- 3) オリジナルマップを作成しお客様へ配布。作成枚数は 10,000 枚を予定。
- 4) 案内が陳腐化しないよう、案内情報の更新に努めます。
- 5) (今回新規企画) これまでの活動で問題となった、どこいき隊員の高齢化・固定化を解消するため、「どこいき隊員育成プログラム」を 4 回実施します。このプログラムでは、みなとみらい地区の観光資源の知識を吸収するだけでなく、まち歩き・自分なりの案内ポイントの提案できるような講座にします。さらに、みなとみらいの歴史・食文化にも触れていきます。
- 6) 「どこいき隊員養成プログラム」に参加いただくべく、他団体と積極的に連絡・協力していきます。

(4) 時期

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月（まち案内活動「どこいき隊」および「どこいき隊員養成プログラム」を含む）

(5) 場所

JR 桜木町駅前およびみなとみらい地区（赤レンガ倉庫広場、象の鼻広場、日本丸広場等）

(6) 当地区で活動を行う理由

- 1) 年間 7600 万人が訪れるこの地区における、案内施設・掲示板等を補填します。人間力によりまち案内を充実させます。
- 2) みなとみらいに案内施設は「インフラ」として必要です。そのための「動く案内所」として活動を行います。
- 3) さらに発展を続けるこの街には、企業の資本力と小回りの利く市民との協働は不可欠と考えます。

(7) エリアマネジメントの効果

- 1) みなとみらい地区の来訪者に対するの利便性向上
- 2) みなとみらい地区へのリピーターの獲得
- 3) みなとみらい地区在勤者・在住者に対して観光地「横浜」の再認識していただき、さらに観光資源の活用に結びきます。
- 4) 新しい文化と古い文化が融合しているみなとみらい地区を来訪者に案内いたします。

(8) その他、特徴やアピールする点

過去 3 年間の活動で 12,000 人の案内実績があります。この活動を一過性ものではなく、「まちの発展に必要なインフラ」として継続していくためにも、ご支援をお願いいたします。

【みらいコース】

収 支 予 算 書

グループ名 大道芸ボランティアの会

1 収入（自己資金や他の助成金などを記入してください。）

項 目	金 額	説明（負担者及び負担方法等）
助成金（A）	252,000	
広告収入	20,000	
自己資金	43,000	
合 計（B）	315,000	(B) ≥ (C)

2 支出（助成金対象経費分）

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
道路使用許可	4回	2,000	8,000	
いす、テント、机購入費	1式	50,000	50,000	机3本、いす6脚、テント1張り
オリジナルマップ印刷費(A3、カラー刷り)	2式	20,000	40,000	枚数10,000枚
どこいき隊員養成プログラム会場費	2回	5,000	10,000	
どこいき隊員養成プログラム資料印刷費	4回	5,000	20,000	カラーコピー
外国語対応ボランティア 謝礼	8名	4,000	32,000	
備品購入費	1式	10,000	10,000	ガムテープ、マジック、模造紙等
ボランティア保険	50名	300	15,000	
交通費補助費	120名	1,000	120,000	
料金受取人払い郵便	1式	10,000	10,000	はがき500枚、
合 計（C）			315,000	【みなとエス】(C) ≥ (A) 【みらいエス】(C) × 4/5 ≥ (A)

どこいき隊員 養成プログラム

あなたも、みなとみらい地区を案内する「コンシェルジュ」になりませんか！

「どこいき隊」とは、JR 桜木町駅前広場でみなとみらい地区を訪れた方に、道案内をいたします。さらに道案内だけでなく、提案型の観光案内も行います。そのどこいき隊の一人になるための養成講座です。

もしあなたが、知人・友人に「みなとみらいで一番良いところどこ？」と聞かれたら、どの観光スポットを案内しますか。そんなあなたには必須プログラムです。

日時 2017年 5月 20日 (日) 13:30~15:30

会場 中区・野毛 Hanahana 2F 会議室

定員 20名

申し込み 大道芸ボランティアの会 ホームページにて

内容 第1回目 (5月20日、土曜日)

どこいき隊のガイダンス、みなとみらい地区の観光資源・公共施設等の基礎知識、横浜の歴史、横浜の食文化など講義

第2回目 (6月10日、土曜日)

どこいき調査隊、桜木町駅から赤い靴号に乗ってみなとみらいに。テーマに沿って観光資源を見学。

第3回目 (7月8日、土曜日) MMD48 (みなとみらいどこいき隊48) を選抜。観光資源を選び、オリジナル map に反映します。

第4回目 (9月16日、土曜日) どこいき隊を実際に体験します。

問い合わせ 大道芸ボランティアの会

どこいき隊活動状況

大道芸ボランティアの会

